

「総合的学習」に関する実践的研究

角藤 寿樹¹⁾ 井上 誠治²⁾

A case study of the "comprehensive learning"

Hisaki Kakuto¹ and Seiji Inoue²

Abstract

The purpose of this study is to investigate the concept of so called "comprehensive learning" and its educational framework. The study reviews of the attempt for the comprehensive learning in Agricultural High School attached to the Faculty of Agriculture, Ehime University. Based on a series of the results, the study concentrates to examine the concept of "free-subject" and "outdoor activities" which is one of the subjects in the comprehensive learning. At the result of examination, subjective characteristics involved in the outdoor activities as a free-subject are manifested as follows; 1)nature 2)physical activity 3)freedom 4)independence 5)activeness 6)artfulness 7)prospectiveness 8)transcendancy 9)human relations 10)emotional importation. The framework indicates a certain tendency and educational possibility of comprehensive learning. Also the questionnaire survey on the comprehensive learning conducted in this study introduces to us an alternative source for discussing the problem of how it should be as an educational enterprise.

Key words : comprehensive learning , free-subject , physical education , outdoor activities

(Bulletin of Department of Physical Education, Faculty of Education,
Ehime University, 5, 37-40, March , 2006)

キーワード:総合的学習, フリーサブジェクト, 体育, 野外活動

1. 問題の所在

加熟する受験戦争や、学校教育における極端な知識偏重への批判に対応する形で、文部省(現文部科学省)の中央教育審議会は、「昭和51年12月答申」において「ゆとりと充実」という表現を用いて学習内容の削減を提言した。これ以降、学習内容の精選として各教科の指導内容が削減されていくとともに、中学校での「選択教科」の拡大、小学校での教科「生活」の新設、小学校から高等学校までのすべての段階で「総合的な学習の時間」を新設するなど、よりきめ細やかな指導をするために各学校の教育課程に関する裁量権が拡大されてきた。「主体的な問題解決のための資質や能力の育成」や「自己の在り方や生き方を考える能力の開発」を主なねらいとする「総合的な学習の時間」は、高等

学校では平成15年度より学年進行で実施されてきた。⁵⁾

一昨年12月に発表された経済協力開発機構の国際学習到達度調査によれば、日本の子どもの学力は、もはや世界のトップレベルではないことが報告され、併せて「ゆとり教育」が目指した「生きる力」もあまり身に付いていないことも指摘されるなど、学校現場からも「指導要領全体を早急に見直すべきである」との声が上がってきている。⁶⁾また、その後の中央教育審議会総会で、文部科学大臣は国際学力調査に表れた学力低下傾向や学ぶ意欲の低下などを理由に「指導要領全体の見直し」の検討を求めると、基礎学力向上のため、「ゆとり教育」の象徴とされる「総合的な学習の時間」の削減も含めた授業時間数の見直しを示唆した。⁷⁾一方で、日本PTA全国協議会の調査によると「削減して基礎教科に充てるべきだ」との批判もある「総合的な学習の時間」だが、保護者の多くは一定の成果を感じ

1) 愛媛大学農学部附属農業高等学校
(愛媛大学大学院教育学研究科)
〒790-8566 愛媛県松山市榑味3丁目2番40号
2) 愛媛大学教育学部
〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番

1. *Agricultural High School attached to the Faculty of Agriculture, Ehime University*
2-40, Tarumi3chome, Matsuyama-shi, Ehime, 790-8566, Japan
2. *Faculty of Education, Ehime University,*
Bunkyo-cho 3, Matsuyama-shi, Ehime, 790-8577, Japan

取っており、過半数の保護者が肯定的に捉えているという報告もある。⁹⁾

しかしながら、学校現場において学力の低下を肌で感じとっている教科専門の中学校教諭は、教科横断的な「総合的な学習の時間」に対しては負担感が強く、従って「総合的な学習の時間」専科の教師を置くことで教科学習を重視すべきである、という意見もある。⁹⁾

学力低下の問題と併せて、学校週五日制、ゆとり教育、「総合的な学習の時間」の見直しの議論が今後ますます盛んになることは疑う余地もないが、「生きる力」を目的とした「総合的な学習の時間」は、保護者の約半数が肯定的な評価をしているように教員の工夫次第で左右される教科でもある。また、「総合的な学習の時間」に関わってさまざまな優れた授業実践の例も報告されている。しかし、授業の主体である生徒の「総合的な学習の時間」に対する意見については、一部肯定的であるとの報告もなされてはいるものの、授業評価としての研究報告はほとんど見られない。「総合的な学習の時間」の見直し論議がなされている現在、「総合的な学習」とは一体何であるのかを問う中で、その概念に内在する本来の意味を改めて捉え直し、その教育の在り方と方向性について考察する必要がある。

2. 研究の目的と方法

本研究は、「総合的な学習」の基本理念及びその教育の在り方について実践的に検討することを目的としている。愛媛大学農学部附属農業高等学校での、「フリーサブジェクト・野外活動」における実践研究の成果に基づいて、「総合的な学習」の概念について検討するとともに、「授業評価」に関わる意識調査を実施し、「総合的な学習」の在り方及びその方向性について考察する。

3. 総合的な学習に関する実践研究

愛媛大学農学部附属農業高等学校は、全国で唯一の国立農学部附属農業高等学校として、さらに、非教員養成系の附属学校としての使命を果たすため、早い段階から「次世代の教育をどのように展開していくのか」をテーマとして掲げ、そのための研究開発や実践教育の推進等に積極的に取り組んできた。平成10年度から平成12年度までの3年間は、文部科学省の研究開発校としての指定を受け、主として中央教育審議会の答申で示された「生きる力」につながる「総合的な学習の時間」についての研究を行った。そこでは、「高等学校の生徒の能力、適性、進路等に弾力的に対応する教育課程の研究開発」を課題として、教職員、生徒、保護者などが連携しての研究に取り組んできた。その成

果は、愛媛大学農学部附属農業高等学校研究紀要ですでに報告されている。¹²⁾⁹⁾

3.1 フリーサブジェクト・野外活動の実践

愛媛大学農学部附属農業高等学校は、「総合的な学習の時間」の研究成果を踏まえ、平成13年度からは、「生涯学習社会を見通した高校・大学教育の連携、接続の在り方の研究開発」で、引き続き文部科学省の研究開発校としての指定を受け、学校改革の視点を「総合」として捉えることで研究を継続している。そこでは、「システムとしての総合（総合学科）から、科目としての総合（総合的な学習の時間）へ」をテーマとする「フリーサブジェクト」を実践研究することで、生徒の「生きる力」を育成し、それをもって学校を活性化するという目的をも担ってきた。

科目名称「フリーサブジェクト」の研究テーマ「弾力的な教育課程の研究開発」は、教員、生徒、保護者などとの連携をその研究基盤としている。「フリーサブジェクト」とは、生徒に豊かな人間性や基礎・基本を身に付けさせ、個性を生かし、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を培うことを基本的なねらいとしている。それはまた、教師自らが生きがいを見つけ、「生きる力」を養う場でもあり、生徒は、それを身近に肌で感じ教師と体験を共有することで、人間としての「生き方」を感じ取っていくことを目標に置いている。そして「野外活動」は、「フリーサブジェクト」の一つの教科内容として位置づけるものである。

「フリーサブジェクト」の一領域としての「野外活動」は、「自然との関わりの深い野外での運動の特性について理解し、その知識と技能を習得できるようにするとともに、自然の中での行動の仕方を身に付け、自然に親しむことができる資質や能力を育てる」というスローガンのもと、あらゆる体験を通して、「生きる力」を育むことを目標にしている。また、それを生涯教育（生涯スポーツ）の出発点として位置づけ、野外活動の基礎・基本を実践し、生徒の自由な発想や自主性を尊重し、固定観念にとらわれない方法での授業を通して、生徒に野外活動に興味・関心を持たせ、野外活動への積極性、活動力、意欲等を育むことを目標とする授業実践を展開した。受講生数は、平成12年度12名、平成13年度17名、平成15年度16名、平成16年度16名の計61名である。

「野外活動」のカリキュラムは主として、1)校内・野外散策、2)キャンプ実習、3)ウォークラリー、4)アイススケート実習、5)室内ゲーム(ロールプレイング)、6)ゴルフ、7)ターゲットバードゴルフの7つの実習によって構成される。さらに実習の前後に各々事前指導、

事後指導を含めた授業形態とし、事前指導では、座学を中心とした知識や計画、技術を伴う予行演習、事後指導では、ビデオ等を使った反省会を実施した。

授業実践の結果、一般的な傾向として、生徒にとって「野外活動」は、「通常の教科と従来のクラブ活動の中間科目」といった意識が強く、「フリーサブジェクト」に臨む態度に通常授業ほどの緊張感はないことが伺えた。そしてこのことが授業の「楽しみ」につながっており、指導者側としてもその雰囲気や壊さずに、学ぶ楽しみを涵養させることが大切であることが示された。ただし、「楽しさ」重視だけでは、「知識・技術の定着化」に関してやや軽視的な傾向に流れるおそれがあり、今後は「楽しさ」と「知識・技術の定着化」とのバランスも考慮して、授業実践に取り組む必要性が認められた。

3.2 フリーサブジェクト・野外活動に関する意識調査

「フリーサブジェクト・野外活動」の実践に基づいて、その「総合的学習」としての展開と方向性について探るために、受講生に対して授業評価に関わる意識調査を実施した。意識調査は、平成12年度から平成16年度（平成14年度は除く）までの受講生61名を対象として、プログラムの目的、認識、評価の3つの視点からの分析を行った。意識調査の一般的傾向として、「フリーサブジェクト・野外活動」における、直接体験を通しての学習は、自ら学び、自ら考えるという主体的に活動する能力の育成に深く関与していることが示唆された。

「総合的学習」の基本理念を探る上で、「フリーサブジェクト・野外活動」に対する生徒の授業評価（自由記述）を分析することが有効であろう。それは、分析の視点として、1) 自然、2) 身体活動、3) 自由、4) 自主性、5) 積極性、6) 技術性、7) 将来性、8) 超越、9) 人間関係、10) 感情移入の10項目で構成される。（表1参照）

1) 自然は、「自然に親しむ、自然の大切さを知る」といった、現代の間接疑似体験からは学ぶことのできない自然理解に関する認識、2) 身体活動は、運動・遊びの中での身体認識、そこに生じる喜びや悲しみ、新たな知識の発見等に関する事、3) 自由は運動を通して自分自身の身体や身体の動きの自由を味わうこと、心の開放感や前向きな姿勢に関する事、4) 自主性は、主体的な状況判断や、広い視野での行為・行動様式、5) 積極性は、何事にも積極的に取り組み、自らの考えを行動として表現できること、6) 技術性は、様々な知識や技術を習得することや、基本の大切さを感じながらフィードバックする能力に関与するこ

と、7) 将来性は、リーダーシップ、より高い目標での思考、自己の探求、8) 超越は、上達のための課題意識、練習を通しての自己統制、技術的・精神的側面での成長に関する事、9) 人間関係は、協調性や仲間意識を含む多様な人間関係を通して、自分自身及び他者の存在について理解すること、10) 感情移入は、率直な感情表現や、行為の成就感、新たな自己の発見等に関する事である。これらの視点は、各々相互に関連するものの、生徒の「フリーサブジェクト・野外活動」に対する一般的な科目特性を示すとともに、「総合的学習」の基本理念に対する一定の枠組みを提示している。

表1：フリーサブジェクト・野外活動の科目特性

	特 性
1. 自 然	自然との一体感：自然への回帰、直接体験、自然理解
2. 身体活動	運動・遊びの中での身体認識：身体運動、喜びや悲しみの生起、新たな知識の発見
3. 自 由	身体及び身体活動の開放性：自分自身の身体及び身体の動きの自由、心の開放感、前向きな姿勢
4. 自主性	主体的な行為・活動形式：主体的状況判断、広い視野での行為・行動様式
5. 積極性	知識的・思考的行動の形式：積極的な行動、思考的行動の表現
6. 技術性	運動技術の獲得と理論的応用：知識や技術の習得、フィードバック能力
7. 将来性	上昇志向及び自己の可能性の拡大：リーダーシップ、目標設定、自己の探求
8. 超 越	課題に対する自己投企：課題意識、自己統制、技術的・精神的成長
9. 人間関係	自己存在・他者存在の認知：協調性や仲間意識、自己理解、他者理解
10. 感情移入	自己表現及び自己実現：率直な感情表現、行為の成就感、自己発見

3.3 総合的学習に関する認識と評価

「総合的学習」に関わる認識と評価について探るために、「野外活動」を含む「フリーサブジェクト」受講生92名、及びその保護者に対して意識調査を実施した。意識調査は、「フリーサブジェクト」の目的、認識、評価の3つの視点からの分析を行った。

意識調査の結果、保護者の「総合的学習」に対する認知度は大変高く、それが親子の対話を含む人間関係の問題にも深く関わっていることが示された。また「野外活動」を含め、「総合的学習」としての「フリーサブジェクト」の意義について概ね肯定的に捉えており、

それに対する期待感も大きいことが伺えた。また当然ではあるが、「フリーサブジェクト」に対する認識の高い保護者ほど「総合的学習」に対する評価も高いものとなった。ただし、少数ではあるが「総合的学習」の効果を認めつつも、その見直しの必要性を指摘する声もあった。

受講生では、多様な体験を通して精神面や情緒面での成長を自己評価している。また、「総合的学習」が学校の目指す「生きる力」の獲得のための手掛かりとなっているとの認識も示唆されており、その可能性を高く評価している。さらには、「総合的学習」が備える技術性、計画性、協調性が現在に生かされており、それを通して授業を越えた学習が可能であるという意見も示された。

「『総合的学習』は、授業担当者の熱意や工夫如何によって、受講生に与える影響は大きく異なってくる」といった指摘もあり、そこでは教師の果たす役割が極めて大きく、「総合的学習」にとっての今後の課題として、真摯に受け止めなければならない。基礎学力の低下が問題となり、「総合的な学習の時間」の見直しが議論されている折、教科の枠を越えた「総合的学習」の目指すものは、広い意味での教育環境の整備である、という問題を考えるとき、「総合的学習」の基本理念が持つ意味は大きい。

4. 結 語

本研究は、愛媛大学農学部附属農業高等学校での実践的取り組みの成果に基づき、体験授業を通しての実践的知識という視点からの「総合的学習」の在り方及びその方向性について考察したものである。意識調査の結果が示すように、直接体験を通しての率直な記述は、生徒の「フリーサブジェクト」に対する期待度が高く、「経験」としての学習が、自ら学び、自ら考え、主体的に活動する能力の育成に深く関わっていることを示している。また、保護者及び生徒ともに「総合的学習」

の必要性を認識するとともに、そこから学んだ経験的知識が「生きる力」へのつながりの可能性を持つものと評価している。

日常生活と学校での生活のつながりが緊密であった時代とは異なり、今の時代だからこそ、学校教育において「総合的学習」の基本理念が持つ意味は大きい。

「生きる力」とは、言葉や法則性という「既成的知識」だけでは育成できるものではなく、併せて直接体験からのみ獲得できる「経験的な知識」とのバランス感覚に基づいて達成されるものであろう。その意味で、「フリーサブジェクト・野外活動」、及び「総合的学習」それ自体に対する認識と評価は、今後の在り方を考察する上で、一つの方向性を示唆するものと思われる。今後は、より詳細な授業評価を実施し、さらなる方向性を探ることが課題であろう。

参考文献

- 1) 愛媛大学農学部附属農業高等学校研究紀要, 第24集, 2002.3.
- 2) 愛媛大学農学部附属農業高等学校研究紀要, 第25集, 2003.3.
- 3) 愛媛大学農学部附属農業高等学校研究紀要, 第26集, 2004.3.
- 4) 読売新聞, 回顧 来年への課題 「ゆとり教育」行き詰まり, 2004.12.27.
- 5) 高等学校学習指導要領解説 総則編, 文部科学省, 1999.12.
- 6) 愛媛新聞, 総合学習親の半数評価, 2005.5.18.
- 7) 毎日新聞, 総合的な学習の時間の削減も視野に入れた授業時間数の見直しを示唆, 2005.1.19.
- 8) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/c/hukyo3/siryu/004/05111601/s004.pdf, スクールミーティングについて, 2005.8.24.